

第14回 苫小牧市食育推進協議会 開催結果

日 時	令和5年11月30日（木）18時30分～19時30分
場 所	市役所9階 会議室
出席委員	会田委員、井内委員、岩城委員、斉藤委員、野村委員、 福原委員、北條委員、三浦委員、林崎委員 (敬称略、五十音順)
事務局	健康こども部健康支援課
会議次第	1 開会 2 部長挨拶 3 議事 (1) 食育推進計画の実施結果・実施計画について (2) 食育月間（6月）及び年間における取組について (3) 苫小牧市食育人材バンクの実施状況について 4 その他 5 閉会
議事録	別紙のとおり

第14回 苫小牧市食育推進協議会 議事録

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>定刻より若干早いですが、ただいまから第14回苫小牧市食育推進協議会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。本日司会を務めます健康支援課長補佐の石澤と申します。よろしく願いいたします。</p>
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>初めに、木村副市長から委員の皆様へ委嘱状を交付させていただきます。事務局がお名前を読み上げますので、その場でご起立願います。また、委嘱状を受け取られましたらご着席願います。</p> <p style="text-align: center;">(委嘱状交付)</p> <p>本日は、浅倉委員、星野委員、宮崎委員が所用のため欠席となっております。本日欠席の委員につきましては、後日、事務局を通じて委嘱状を交付させていただきます。</p> <p>以上で委嘱状の交付を終了いたします。</p>
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>続きまして、木村副市長よりご挨拶申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">(木村副市長 挨拶)</p> <p>副市長は他の公務がございますので、ここで退席させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(木村副市長 退席)</p>
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>続きまして、委員の皆様から自己紹介をいただきたいと思っております。会田委員から反時計回りをお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">(各委員 挨拶)</p> <p>ありがとうございました。次に、事務局の職員をご紹介します。</p> <p style="text-align: center;">(事務局 紹介)</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>事務局 (健康支援課長補佐)</p>	<p>続きまして、委員長・副委員長を選出したいと思います。苦小牧市食育推進協議会設置要綱第5条により、協議会に委員長・副委員長を各1名置くこととなっており、委員長の選出につきましては、第5条第2項により、委員長は、委員の互選により決定すると規定されております。また、第5条第3項に、副委員長は委員長の指名により決定すると定められています。</p> <p>初めに、委員長の選出についてお伺いしますが、委員の皆様から特段のご意見がなければ、事務局案をお示しさせていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」と呼ぶ者あり)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>事務局といたしましては、苦小牧市中学校長会推薦の井内委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>(「異議なし」と呼ぶ者あり) (拍手)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、井内委員を本協議会の委員長として、議事を進めてまいりたいと思います。</p> <p>井内委員長、中央の席へご移動をお願いいたします。</p>
<p>健康支援課長補佐</p> <p>井内委員長</p> <p>健康支援課長補佐</p>	<p>早速ですが、委員長から副委員長のご指名をお願いいたします。</p> <p>それでは、副委員長は、一般社団法人苦小牧観光協会推薦の林崎委員にお願いしたいと思います。</p> <p>(拍手)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員長と副委員長からご挨拶を頂戴したいと思います。</p> <p>井内委員長からお願いいたします。</p> <p>(井内委員長 挨拶)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、林崎副委員長、お願いいたします。</p> <p>(林崎副委員長 挨拶)</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>ありがとうございました。</p> <p>これより議事に入りますが、本日は9名の委員の皆様にご出席いただいておりますので、苫小牧市食育推進協議会設置要綱第6条第2項に基づきまして、本協議会が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>また、苫小牧市食育推進計画の冊子をお持ちでない方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせください。</p> <p>なお、本日の会議は20時をめぐりに終了したいと考えておりますので、円滑な議事の進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、これからの司会進行は、苫小牧市食育推進協議会設置要綱第5条第4項に基づき、委員長にお願いしたいと思います。</p> <p>井内委員長、よろしくお願いいたします。</p>
井内委員長	<p>それでは、事務局のほうから20時を目途にということですので、時間を上手に使いながら活発な意見を交換できたらいいなと思っています。</p> <p>それでは、議事の1食育推進計画の実施結果・実施計画、資料の1について、事務局から説明をお願いしたいと思います。</p> <p>では、事務局、よろしくお願いいたします。</p>
事務局 (健康支援課主事)	<p>健康支援課の東浦と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>議事1の食育推進計画の実施結果・実施計画の説明に入る前に、今回新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、改めて苫小牧市食育推進計画の概要についてご説明させていただきます。</p> <p>本計画は、食育基本法に基づく市町村計画として平成29年11月に策定された第1次苫小牧市食育推進計画を経て、令和4年度から8年度までの5年間の計画として第2次苫小牧市食育推進計画を策定しております。</p> <p>本計画の策定に当たりましては、まず、第1次苫小牧市食育推進計画の評価を行い、加えて令和3年5月に食育に関する市民アンケートを実施しました。これらから見えた本市の現状・課題などを踏まえ、第1次計画より基本理念を引き継ぎ、3つの基本目標を定め、6つの主な取組によって食育のさらなる推進を図っております。</p> <p>食育推進計画の冊子の34ページをお開きください。本計画では「生涯にわたって健全な食生活を実現し、豊かな心と健やかなからだをつくります」という基本理念を掲げております。また、基本理念を実現するための基本目標として、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、「食」を学び、健康なからだをつくります 2、「食」を楽しみ、感謝の気持ちを育みます 3、「食」にふれあい、食育への理解を深めます <p>この3つを掲げており、さらに、この基本理念と基本目標を推進するために、同じく34ページに記載されている6つの主な取組を設定しております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課主事)	<p>以上が本計画の軸となる考え方ですが、これに基づき各ライフステージに応じた取組を展開しているところでございます。</p> <p>冊子の35ページから49ページにかけて、3つの基本目標とそれにひもづく各種事業を掲載しております。</p> <p>基本目標1に対応する事業としては、主に健康な体づくりにつながるものとして、各種健診や健康づくりに関する講習会などを位置づけております。</p> <p>基本目標2につきましても、食の楽しさを学び、マナーや感謝の気持ちを育むものとして、学校給食における郷土食の提供や、地場産品を味わうイベント、食品ロス削減への意識を高める事業などが盛り込まれています。</p> <p>基本目標3に関する事業といたしましては、新たな生活様式、デジタル化に対応するものとして、親子同士、友人同士などの共食に関する事業や、SNSなどのデジタルツール等を活用し、特に若い世代への食育を推進する事業を位置づけております。</p> <p>続いて、冊子の50ページをお開き願います。50ページでは、本計画を推進する上での数値目標を記載しており、計画の最終年度に改めて食育に関する市民アンケート等を実施し、評価をすることとしております。</p> <p>51ページからは、本計画の推進に係る関係団体等との連携体制や各主体の役割、計画の進行管理について記載しております。</p> <p>以上、簡単ではございますが、苫小牧市食育推進計画の概要について説明を終わらせていただきます。</p> <p>続いて、食育推進計画の実施結果・実施計画について説明させていただきます。お手元の資料1をご覧ください。</p> <p>この資料は、食育推進計画に掲げている各事業の令和4年度の実施結果と令和5年度の実施計画を記載した資料でございます。内容については、お時間の都合上、抜粋して報告させていただきます。</p> <p>基本目標1に関する事業として、1ページ目の項番1から3ページ目の項番24まで掲載しております。</p> <p>まず、1ページ目についてです。項番1、パパママ教室、項番4、赤ちゃん教室、項番6、離乳食・食育講習会についてですが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり一部中止になりましたが、令和4年度は感染対策やイベントの開催条件などの緩和などもあり予定どおりに開催することができております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課主事)	<p>続いて、裏面の2ページをご覧ください。項番16の重症化予防事業が第2次計画から追加された事業になります。特定健康診査の結果、生活習慣病の重症化のおそれがある方に対して、食生活等の改善を促す保健指導を行っております。食事指導を行うことで数値が改善したという事例もあり、効果については十分に期待できるものとなっております。</p> <p>続きまして、3ページ目になります。項番24の防災講座が第2次計画から追加された事業になります。災害時における食の重要性、必要性を伝え、日頃から各家庭に合わせた災害時の食の備蓄の重要性について、市のホームページや出前講座などで普及啓発を行っております。</p> <p>続いて、基本目標2に関する事業として、3ページ目の項番25から6ページ目の項番47まで記載しております。</p> <p>5ページ目になりますが、5ページ目の項番45、情報媒体等による消費者への啓発、項番46、フードドライブ事業、項番47、SNSでの動画配信、こちらが第2次計画から追加された事業になります。このうち、5ページ目の項番46、フードドライブ事業についてですが、食べ残しや食品廃棄等の食品ロスが環境への負荷を生じさせていることから、この食品ロスの削減推進の一環としての事業となっております。</p> <p>続いて、6ページをご覧ください。項番48から基本目標3に関する事業を掲載しております。</p> <p>項番48のとまっこLINEについてですが、今年の10月から母子手帳の補助機能を備えたとまっこアプリを配信開始したことに伴い、今年の11月をもってとまっこLINEは終了となります。とまっこアプリの導入によって、子育て世代の方がより利用しやすい体制を整えております。</p> <p>同じく項番52の食物アレルギー対応につきましては、令和4年度よりアレルギーの対応食、それまでの卵除去食から卵と乳の代替食に拡大しており、より多くのアレルギーのある児童生徒にクラスメイトと同じように安心して給食を楽しむことができるように取り組んでおります。</p> <p>最後に、7ページ目になります。7ページ目に掲載しております項番56の食育月間、57番の食育の日、こちらにつきましては、この後、議事2でご説明させていただきます。</p> <p>食育推進計画の実施結果・実施計画につきましては以上でございます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
井内委員長	それでは、ただいま説明のあった議事1につきまして、ご質問やご意見等がありましたら挙手をお願いしたいと思います。どうでしょうか。
福原委員	以前の会議で、1番のパパママ教室、これを受講したい新しいパパ、ママがたくさんいるけれども、定員に限りがあって、受けられない方もいたと聞いたので、これを何とか受けたいパパ、ママが講習を受けられるようにしてもらえないかと、以前この会議でお願いしましたが、その後、どうなっているでしょうか。
事務局 (健康支援課副主幹)	<p>パパママ教室の定員についてでございますけれども、先ほど説明の中にも少しありましたが、コロナ禍におきまして、少し時間の配分ですとか人数の調整という部分で、希望者の全員までに参加をいただけない状況等もあったというところは以前もお話しさせていただいたところだったかと思います。</p> <p>現在は通常の運営に戻しておりまして、定員数の拡大という部分で少し余裕を持った形で定員を持たせて実施している状況がございます。</p> <p>ただ、人間的なものと時間的な設定の部分で、どうしても毎回数名、残念ながら当日にご参加いただけないという方もいるのも事実でございますので、そういった方につきましては、ご希望を聞きながらおうちのほうに訪問させていただいた中で、例えば沐浴指導をさせていただくとか、そういった形でできるだけニーズに対応できるような方法を、お話をさせていただいた中で対応しているという状況でございます。</p>
福原委員	分かりました。よろしく願いいたします。
井内委員長	それでは、そのほか、ございませんか。
斉藤委員	20番、健考・健幸DAYですけれども、今年は今までと全く違う方式で行われたことがまず驚かされました。それと、焦点を絞ったということで人数がかなり違うと思いますが、その辺の目的と、あと金額を見るとちょっと一桁違うかなと思いますけれども、恐らく講師の方、外部委託だったということもあると思いますが、その辺りを詳しく教えていただけますでしょうか。
事務局 (健康支援課長)	<p>今お話がありましたが、今年はRIZAPの方のZoomで参加いただいた会場の方と、ご自宅や会社のほうからご参加いただき、みんなで運動をするということを実施しました。</p> <p>それで、今も引き続き、LINEに登録いただいた方に、健康支援課の保健師のほうからちょっと定期的にLINEでいろいろな情報を発信しております。</p> <p>予算については、先ほど委員からお話ありましたように、RIZAPの講師の方をお願いしたというところでこのような金額になってございます。</p>
斉藤委員	ありがとうございます。

発 言 者	発 言 内 容
井内委員長	<p>20番に関しては、そのほかにございませんか。よろしいですか。 R I Z A Pだったんですね。知っておけばよかったです。 そのほか、ございませんか。よろしいですか。 ご意見がないようなので、では、議事の1を終了して、続きまして、議事の2に入りたいですが、よろしいですか。 (「はい」と呼ぶ者あり)</p>
井内委員長	<p>議事の2食育月間及び年間における取組について、資料2に該当すると思 います。事務局、説明のほうをよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (健康支援課管理栄 養士)	<p>健康支援課管理栄養士の山本と申します。よろしくお願いいたします。 私からは6月の食育月間における取組について、まずご報告させていただきます。皆様、資料の2をご覧ください。</p> <p>まず、私が所属しております健康支援課が主体となって行いました取組につ きまして、1の図書館食育コーナーについてですけれども、今年度は初め て東開文化交流サロンにもご協力いただきました。こちらの施設にはパーラ ー東開町二丁目というカフェが併設されているのですが、こちらの写真にも ありますように、そのカフェで提供しているスイーツと関連づけた展示で注 目を引くよう工夫していただきました。</p> <p>次に、2の食育パネル展につきまして、こちらは例年同様、市役所の1階 ロビーで展示をしましたが、今年度は期間中に2回、連携協定企業である日 本生命協力の下でベジチェックを実施しました。こちらは2日間で114名 の参加がありました。</p> <p>ベジチェックというのは、機械に手のひらをかざすと皮膚のカロテノイド 量から日頃の野菜接種量を推定できるというものです。参加者からも「野菜 を多く取るにはどうしたらいいんですか」「野菜ジュースは効果があるんです か」などの声をいただいております、食生活について考える一助となったのでは ないかと思えます。</p> <p>裏面に行きまして、3は市役所職員研修の一つとなりますので、こちらは 割愛させていただきます。</p> <p>4、5は食育の啓発活動です。5の中央の画像は、アイスホッケーチーム のレッドイーグルスが市内の保育園でジャガイモを植えたり給食を食べたり しているものです。</p> <p>このように市内の食育活動をPRすることで食育に関心がある人を増やし ていきたいと考えております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 （健康支援課管理栄養士）	<p>次に、健康支援課以外の課が主体となっている取組につきましても簡単にご報告させていただきます。こちらは市の栄養士間で連携しまして、こども育成課と学校給食に関係する給食共同調理場から情報をいただきました。</p> <p>まず、こども育成課につきまして、1、2、あと、裏面の4番は、公立保育園での掲示物やお便りによる食育の啓発活動です。そして、3の学校給食共同調理場の見学につきまして、こちらは6月28日に保育園の四、五歳児41名が第一学校給食センターのほうに行き、実際に給食を作る様子を見学したり調理器具に触れたり、楽しく学びある時間を過ごしたというふうに伺いました。</p> <p>次に移りまして、給食共同調理場につきましては、1の栄養日よりでは、朝ご飯をテーマにしたコラムと市内の食育活動についての情報を掲載いたしました。こちらの内容につきましては、給食共同調理場栄養士と健康支援課栄養士間で意見交換をした後、作成していただいたものです。</p> <p>学校給食のほうの2番の地場産物の活用につきまして、こちらは例年提供しているホッキカレーに加えて、今年度は新たにホッケの和風フライの提供も行ったと伺いました。こちらも以前から試作を重ねていたものだというふうに伺っております。</p> <p>裏面に移りまして、最後に年間取組についてご報告させていただきます。</p> <p>まず、毎月の取組として、1の食育の日（毎月・19日）では、健康支援課のInstagramにレシピを投稿しております。その内容につきましては、2にある広報とまこまいに掲載しているとまこまいレシピの内容と同一ではありますが、複数の媒体を利用することで幅広い年齢層に対しての啓発活動を行ってまいります。</p> <p>次のページの3の教育福祉センター食育コーナーにつきまして、まず、こちらの教育福祉センターでは、毎月乳幼児健診として1歳半及び3歳児の集団健診を行っております。こちらの健診を行っている会場内に掲示を行い、来所された子供と、主にその保護者に対して知識を伝える場としていきます。</p> <p>4の児童センターへのポスター掲示につきましては、こちらは青少年課と連携をしまして、昨年12月から1月にかけても食育ポスターの掲示を実施をしたのですが、今年度も掲示内容を変えて実施したいと考えております。</p> <p>皆様にお送りした資料では、詳細は検討中としておりましたが、今月児童センター会議がありましたので、そちらで各センター長にも趣旨をご説明させていただいたところで、現在ポスターを作成中です。内容としては、12月から1月という時期に合わせて、冬休みの過ごし方として家庭でのおやつやジュースについての内容も盛り込もうかというふうに考えております。</p> <p>食育月間及び年間取組の報告については以上でございます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
井内委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>食育月間、健康支援課の取組であったり、連携した取組、そして年間における取組について報告がありましたけれども、今の報告について何かご意見やご質問はございませんか。</p>
会田委員	<p>2番の食育パネル展の開催の中でベジチェックをされたとお話を伺って、すごく興味を持ったんですけれど、なかなか目安量の350グラムは取れていない方がほとんどじゃないかなというふうに思ったんですが、参加された方のうち350グラム以上を取れていた方はいらっしゃったんですか。</p>
事務局 (健康支援課管理栄養士)	<p>少し見えづらい写真で申し訳ないですけれども、資料の一番左の写真が、あなたの野菜接種レベルということで、参加された方にご自身のレベルが、ゼロから12までありますが、シールを貼っていただきました。</p> <p>それで、レベルの7から8あたりに該当する方がおおよそ350グラムぐらい接種している方になります。</p> <p>人数については写真では具体的な数が数えられないですけれども、大体20人弱、十数名は350グラム以上接種しているというような結果でした。</p>
会田委員	<p>レベルの5、6にすごく人数が集中しているので、大体200グラムぐらいは取れている感じですかね。</p>
事務局 (健康支援課管理栄養士)	<p>そうですね。あともう少し足りないという方がとても多いというのが、国の調査内容ともやはり一致するのかなというふうに感じました。</p>
会田委員	<p>ありがとうございます。</p>
井内委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>このグラフを見ると、2割いっているかいないかぐらいなんじゃないかなというふうに見ましたけども、そういうものなんですね。ちょっとびっくりしました。</p> <p>今の食と野菜摂取量なんかに関しては、広報活動等で広めていくということですね。</p> <p>具体的に何かそういう方法とか事例とかがありましたら、ご紹介いただけますか。</p>
事務局 (健康支援課管理栄養士)	<p>資料の年間取組のところにも簡単に記載させていただきましたが、広報とまこまいのとまこまいレシピのコーナーにつきまして、朝ご飯を食べている市民が少ないというところが一つの課題かと思われましたので、基本的には朝ご飯のレシピを掲載しています。</p> <p>併せて野菜の接種量が少ないという現状もありますので、簡単に朝食べられてなるべく野菜を取れるようなレシピを今年度いっぱい、まず3月までは掲載していく予定です。</p> <p>そのようなところから野菜を取りましょう、野菜を取るにはこのようなレ</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課管理栄養士)	シピがありますよといった紹介を広報と、インスタグラムとを活用しましてPRしております。
井内委員長	<p>課題を把握して、それに対応した取組を行っているという報告でしたけれども、この件に関してはそのほかに追加の質問とか意見とかはございませんか。</p> <p>給食に関わることも出ていましたけども、北條委員、何かございませんか。</p>
北條委員	<p>やはり各子どもたちの給食を見ていまして、ちょっと野菜の残食が多いというようなことがやはり課題になっているのかなというふうに思っております。</p> <p>ただ、食に関する指導で、給食センターのほうから栄養教員の先生が来られて、バランスよく取るんだよということで啓発していただいたり、そんな中で子供たちも少し意識して食べるようにはなってきているのかなと思います。</p> <p>あとは、子どもたち、勉強したことはおうちでしっかり伝えてもらって、親子で共有して、おうちのほうでも協力してもらおうというようなことで、学校としては進めているところです。</p>
井内委員長	学校の取組のほうを説明していただきましたけども、ほかに質問とか意見とかはございませんか。
福原委員	<p>私、二十数年間、小学校を中心にお豆腐作りの体験授業みたいなことをさせていただいてきたんですけど、一緒に子どもたちと給食を頂くときに、すごく時間が短くて、大人からすると時間が短いと感じました。</p> <p>やっぱり配膳して、食べて、後片づけして、歯を磨いて、ちょっと遊んで午後の授業という、私個人の感じですが、コロナ禍もあり、昼食を食べながら友達とおしゃべりするというのは駄目という状況なのかもしれないですけど、私たちの子どもの頃の状況とは随分時代も変わって、何かちょっとこれでいいのかなと感じた面も学校給食の中でありました。</p>
井内委員長	<p>今、学校の状況をお話ししますと、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴って、黙食が解除されまして、黙って食べるということはもうなくなりましたので、その部分では食を楽しむ、食を楽しみながらコミュニケーションを深めるという状況には少しずつ戻りつつあるのかなというふうに思っています。</p> <p>給食時間が短いというのは、なかなか日課を工夫していてもちょっと厳しいところがあります。学校では給食準備を早くするであったりとか、食べ切れない子に関しては延長して食べる時間を確保するとかという工夫はしていますが、その辺はこれからまたちょっと課題として、校長会等でも共有していきたいというふうに思います。貴重なご意見をありがとうございました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
井内委員長	<p>そのほか、何かございませんか。よろしいですか。</p> <p>では、議題2についてはこれで切り上げて、それでは、議題の3 苦小牧市食育人材バンクの実施状況について、事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
事務局 (健康支援課主査)	<p>苦小牧市食育人材バンクの実施状況につきまして、事務局の阪田よりご報告申し上げます。</p> <p>お手持ちの資料3のほうをご覧ください。食育人材バンクは、地域の特性を生かした食育を推進するため、平成30年度に設置しております。利用につきましては、食育に関する勉強会をしたいとか、サークルで食育について聞きたいなど、食育に関心のある方が、4ページの講師名簿の中から講師を選んでいただき、事務局である健康支援課に依頼書を申請していただきます。事務局が講師と日程調整を行い、依頼者に講師を紹介する流れです。</p> <p>講師は食に関する豊富な知識と技術を持つ市民や団体が登録されています。講師により資格や活動歴、お話しできる内容は様々です。調理実施の材料費などは原則依頼者のほうで負担していただきますが、講師によっては謝金が発生する方もいらっしゃいます。</p> <p>続きまして、3ページの令和4年度の実施状況に移ります。登録講師は個人7人、団体5件です。依頼は保育園、幼稚園、介護福祉課で行っております一般市民の方が参加する介護予防教室げんき倶楽部で、合計8件のご依頼で、359から369人が参加しております。</p> <p>続きまして、1ページの令和5年6月までの実施状況につきましては、登録講師が個人6人、団体5件です。依頼は保育園や幼稚園、町内会、介護福祉課で実施しております介護予防教室げんき倶楽部で、合計22件で、1,149人が参加しております。その後も新たなご依頼のほうがありまして、6件で303人が参加されておりました、1件は今、調整中でございます。令和2年度の依頼はゼロ件で、令和3年度は1件と、コロナ禍の影響を受けて依頼が減少しておりましたけれども、令和4年度以降、集まる機会が増えたのと、保育園への周知を行い依頼が増加いたしました。</p> <p>課題としましては、食育人材バンクから依頼される講師に偏りが見られるため、5ページと7ページの子供用とシニア用のチラシにほかの講師が活動している写真を載せてイメージしやすいように作り替えております。</p> <p>また、依頼を受けた際にアンケート調査のほうも行っておりまして、年度末に集計をいたしまして、令和6年度の活動に反映したいと考えております。</p> <p>以上で苦小牧市食育人材バンクの実施状況についてのご報告は以上になります。</p>

発 言 者	発 言 内 容
井内委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>依頼件数が8件から22件、大幅に増加しているということと、あと、チラシ等の工夫もしながら進めているという報告でしたけども、食育人材バンクに関して何か質問、ご意見等はございませんか。</p>
野村委員	<p>これに対してなんですけれども、コロナ禍の前でしたら、私が役員やったときに大変いい活動しているなど、町内会とか学校関係でも依頼が多くあるといいなという感覚を持って、そのときにもちょっとご意見させていただいていました。</p> <p>コロナ禍のためにやはりこういう活動がちょっと一時止まっていたような形は見えていましたが、去年あたりから、本当に西の一番端っこの樽前地区の小学校だとか、ちょっといろんな形のところでも、学校便りが来るとヤクルトさん呼んで勉強会をしたとか、子どもたちにこういうことがあるよ、ホクトさん呼んで親御さんにも勉強会をしましたという報告が上がってきています。</p> <p>どんどん何か大きなところで、保育園だけでなくいろんな施設関係とか学校関係もやっぱり子どもと親御さんも一緒になりながら勉強していただけると大変いいことなので、もっといろいろな講師の方も探していただけたらありがたいと思っております。</p>
事務局 (健康支援課主査)	<p>令和4年度以降はこの食育人材バンクもコロナ禍が明けて増えてきていますし、全体的に人が集まれるものが増えてきておりますので、今、委員からご意見いただいたとおり、保育園、幼稚園以外にも少し拡大してご依頼していただけるようにしたいと思います。</p>
井内委員長	<p>野村委員からは学校もという話がありましたけども、北條委員、どうでしょうか。</p>
北條委員	<p>そうですね、なかなかこういう機会を積極的に取り入れていこうというところ、情報がちょっとあまり広まっていない部分があると思いますので、もう少し学校関係のほうでも発信して、どんどん活用していければというふうに思っております。</p>
井内委員長	<p>これに関連して何か質問、ご意見はございませんか。</p> <p>では、これ以外の質問等はございませんか。よろしいでしょうか。</p>
井内委員長	<p>それでは最後に、その他として、議事全体を通して委員の皆様からご意見やご質問等があれば挙手をお願いしたいと思います。全体を通して何かございませんか。</p>
三浦委員	<p>今年から開催しました健考・健幸DAYのR I Z A P、私も参加させていただきました。たくさん的人数で、Z o o mで、画面で講師の先生がとても上手にお話ししてくださるので、つい楽しく時間を忘れて運動することができました。これからはいろんなアイデアを考えて、いろんな事業をやってくださいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (健康支援課長)	<p>ありがとうございます。先ほど齊藤委員からご質問いただいた補足として、令和5年度の予算額は200万円超という数字になっていますけれども、実は予算を策定していたときと、今年度に入ってから働く世代に肥満に対してどのようにフォーカスしていくかということをちょっと課内で再検討いたしまして、今回RIZAPということになりました。</p> <p>昨年よりは決算額は若干高くなっちはいきますけれども、この予算額ほど高額で決算額にはなる予定とはなっておりません。</p> <p>また来年につきましては、こちらの健考・健幸DAYについてはスポーツフェスティバルとちょっとコラボしてやっていきたいと思っておりますので、多くの方にご参加いただけるように周知を図ってまいります。よろしくお願いいたします。</p>
井内委員長	<p>企業と連携しているという取組であったりとか、オンラインをうまく使っているという取組、そしてターゲットをきちんと絞ってやっているというあたりなんかは、すごく計算しながら進めているなというふうに考えて聞いておりました。</p> <p>では、そのほか何かご意見はないでしょうか。よろしいですか。</p>
岩城委員	<p>今回初めての参加だったので、こんなにいろんなことをされているということに初めて気づいたというか、いろいろ勉強になるなと思って聞いていました。</p> <p>食育人材バンクの件も、うちの児童協会のほうでは末広保育園が9月6日にホクトさんをお願いしているようですが、このときのことについて児童協会の栄養士同士でもうちょっと情報の交換をして、子どもたちの反応とか、どうだったかとか、次はどこに頼もうかとか、私も資料を見て自分の所属する、ひよし保育園の園長のほうに私たちもこういうのを呼んでみたいということ为先ほど申したばかりなんですけれども、そういった形でどんどん広めていって、どうかなというふうにやっていきたいなというふうに考えました。</p> <p>あと、手のひらでカロテノイドのベジチェックをするという、これは日本生命さんと提携してということですが、何か機械とか、ちょっと教えていただけたらと思います。</p>
事務局 (健康支援課長)	<p>そうですね、本当に手のひらサイズの小さなものなんですけれども、本当に手を当てるだけで割とすぐに結果が出て、とても好評でした。</p>
岩城委員	<p>そうなんです。高額な機械なんですかね。</p>
事務局 (健康支援課長)	<p>機械は日本生命さんの機械になりますので、ちょっとどのくらいする機械かはこちらでは把握していなかったです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
岩城委員	<p>レンタルしたりとか、もしくは日本生命さんに来ていただいて、例えば園で夏祭りとかいろいろ保護者が来たりするようなイベントがあるんですが、そのときにそういうものをお借りして、親子でやってもらったりとかというのも何かいいかなとかと、いろいろ考えたんですけど、そういった道はありますかね。</p>
事務局 (健康支援課長)	<p>そうですね、今は日本生命さんとこちらの苫小牧市のほうで連携協定を結んでいる関係で、一緒にやっていただけませんかということでご協力をいただいているので、例えば、この食育のというところで保育園のほうに行ってくださいというところで、日本生命さんのほうでいいですよということになれば、全く駄目ということではないのかなと思います。</p>
岩城委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
井内委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>中学生なんかもすごく興味を持ってその機械の前に立つんじゃないかな、手のひらをかざすんじゃないかなというふうに思って聞いていました。何か新しい取組になりそうな気もちょうとしていますね。何か面白いなというふうに聞いていました。</p> <p>あとは、そのほかは質問はございませんか。よろしいですか。</p>
会田委員	<p>日本生命さんに食育人材バンクに登録していただくとかという計画はありますか。</p>
事務局 (健康支援課長)	<p>今回、皆様からいろいろなご意見をいただきましたので、次回、日本生命様とお話しする機会がありますので、ちょっとそのときにこちらのほうからお話ししてみたいと思います。</p>
会田委員	<p>ありがとうございます。</p>
井内委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほか、ございませんか。よろしいですか。</p> <p>林崎副委員長、何かございませんか。</p>
林崎委員	<p>一生懸命アンケート調査とかに取り組んでいただいた、今回の食育推進計画は全部でどれぐらい部数を印刷して、どんなところに置いてあるのかな、ちらっと聞きたいなと思いました。</p>
事務局 (健康支援課主幹)	<p>ちょっと今は資料を持っていないので、即答はできないので、分かりましたら。</p>
事務局 (健康支援課長)	<p>食育推進計画については、ホームページでアップして広く皆さんにお目にいただけるような形を取っております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
井内委員長	<p>そのほか、ございませんか。よろしいですか。</p> <p>では、最後に私のほうから一言感想も交えてお話しさせていただきたいと思います。</p> <p>今年の夏はすごく暑かったですよね。実は、中学生も朝の段階から具合の悪い子が保健室のほうに行っていて、養護教諭の話を見ると、朝食を食べていないんだと、寝ている間に汗をかいて、発汗して水分が出て、そして朝食も食べずに学校に来てという、もう朝の早い段階から熱中症予備軍みたいな形で登校している。</p> <p>先ほどお話を伺ったときに、苦小牧は朝食を食べる割合が低いんですというお話もあって、改めて食育を苦小牧で進めていく必要性というのを実感いたしました。</p> <p>健康支援課のほうでも非常に力を入れて取り組んでいるということも本日分かりましたし、今日ご参集いただきました委員の皆さんのほうもこの取組を少しずつ広めながら、子供たちの健康、そして苦小牧市民の健康が今よりも一つでも二つでも前進していくような取組になっていけばいいなと思っておりました。</p> <p>以上で本日の予定していた議事が全て終了いたしました。スムーズな議事の進行にご協力いただきましたことにお礼を申し上げます。ありがとうございました。</p>
事務局 (健康支援課長補佐)	<p>井内委員長、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして第14回苦小牧市食育推進協議会を閉会いたします。本日はお忙しい中をお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。</p>